

2014年7月8日

各 位

 株式会社キューコーリース  
 株式会社九電工  
 JFE エンジニアリング株式会社

## 千葉県富津市で最大出力 2.8MW の メガソーラーの建設に着手

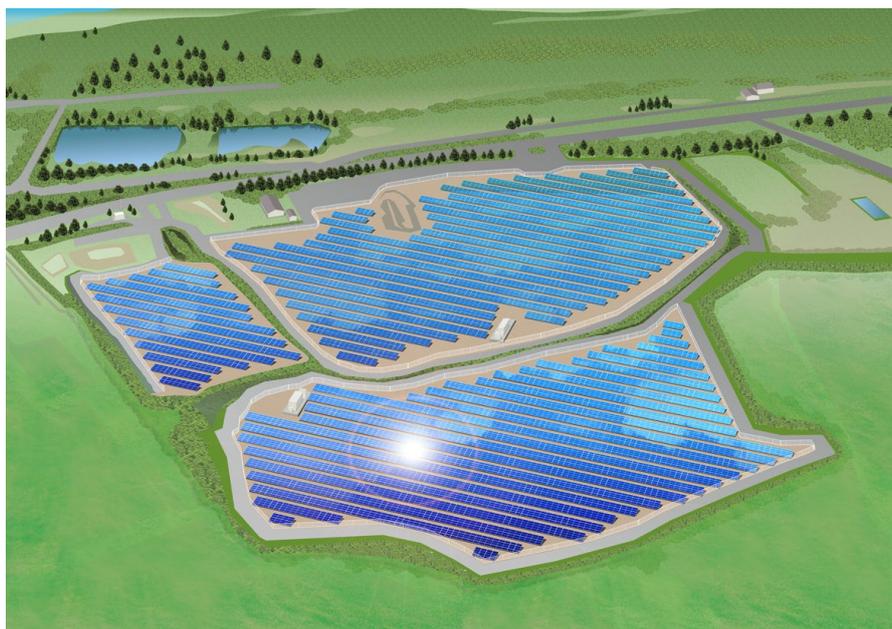
株式会社キューコーリース（本社：福岡県福岡市、社長：後藤 和雄）、株式会社九電工（本社：福岡県福岡市、社長：西村 松次）と JFE エンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：狩野 久宣）は、このたび、千葉県富津市で最大出力 2.8MW (2,820kW) の大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設に着手しますのでお知らせします。

### ■事業概要

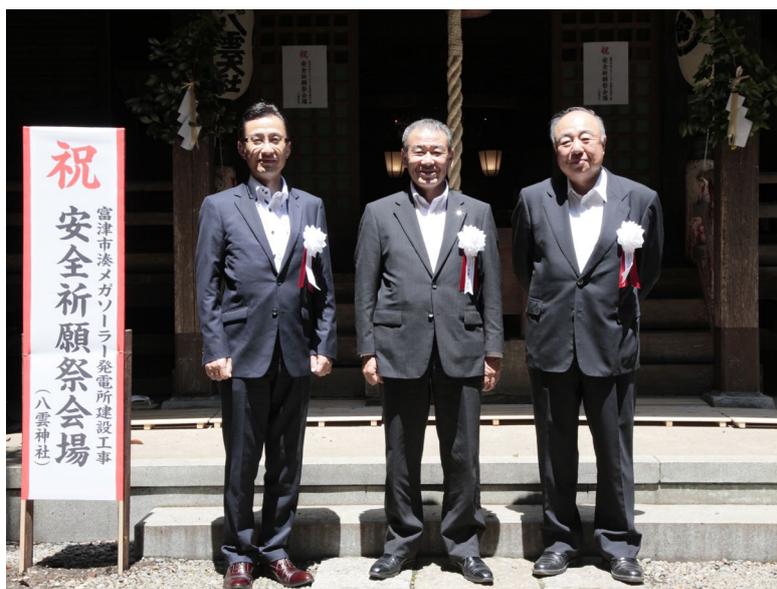
所在地	千葉県富津市湊字笹の谷 1206-19 他
出力規模(モジュール容量)	2,820kW (予定)
設置面積	約 53,595 m <sup>2</sup>
パネル枚数	11,280 枚 (予定)
年間予想発電量(初年度)	3,137,200kWh (予定) 一般家庭約 870 世帯分の年間消費電力に相当(*)
事業主	株式会社千葉シャインエナジー (キューコーリース 60%、九電工 30%、JFE エンジニアリング 10%)
工事着工時期	2014 年 7 月
運転開始時期	2015 年 1 月(予定)

(\*)1 世帯当たり 3,600kWh/年で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

3 社は 2013 年 6 月に再生可能エネルギーによる発電事業を共同で推進することで業務提携し、それぞれの営業ネットワークを生かして九州地区を中心に全国各地でメガソーラーの開発を進めています。本件は、2013 年 12 月に稼動した熊本県玉名郡での 1.7MW(1,728kW)のメガソーラーに続く 3 社提携スキームの第 2 弾であり、九州地区以外における初めてのプロジェクトです。今後も、3 社は再生可能エネルギーをはじめとしたエネルギー関連事業を積極的に共同展開し、地球環境保全や地域社会の発展に貢献してまいります。



完成予想パース図



安全祈願祭の様子

(左より、株式会社九電工 開発営業部 大藪秀樹部長  
株式会社キューコーリース 後藤和雄代表取締役社長  
JFE エンジニアリング株式会社 半澤巖取締役専務執行役員)

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報部

株式会社九電工 総務部広報グループ

JFE エンジニアリング株式会社 総務部広報室